



各学会認定の教育施設でもあり、治療や研究も行う藍野病院

認知症の早期診断・治療はもうろく合併症にも対応 総合病院として「体と心を合わせて診る」を徹底する

医療法人 恒昭会 藍野病院

「もの忘れ外来」設置 認知症診療で実績を上げる

「高齢者医療の最先端を担い、急性期から慢性期まで診られる病院として地域医療に貢献しています」と話すのは、藍野病院の杉野正一院長。認知症やパーキンソン病などの診療に実績を上げているが、なかでも認知症診療では10年前から「もの忘れ外来」を

開設し、早期診断や早期治療を実践している。「早期診断により治療可能な認知症がありますし、薬で進行を遅らせることも可能です。早期治療を行うことで、患者さんや介護者の方に適切なアドバイスを行い、精神症状が出ることを防ぐこともできます」

「もの忘れ外来」を担当するのは、神経内科と精神科の医師だ。とくに精神科の医師が最初からかわり、両者がスムーズに協同することで、精神症状などの治療に対応するリエゾンの体制を整えている。

総合病院として 身体合併症も治療する

また、総合病院の強みを生かし、認知症の患者の精神治療を行いながら、内科や外科、整形外科を含む全科の治療を受けることが可能だ。認知症の場合、



運動会や園芸教室、のど自慢大会など、各種イベントも開催し、患者や家族との交流を図る



杉野正一院長

すずのまさかず ●1979年、大阪医科大学医学部卒業。大阪医科大学附属病院を経て、83年、浴風会病院勤務。89年、大阪医科大学第一内科講師。97年、大阪医科大学第一内科講師。2011年より藍野病院院長兼老年心身医療センター長。医学博士。大阪医科大学臨床教育教授。日本神経学会認定神経内科専門医。日本内科学会認定総合内科専門医。日本神経学会代議員、日本神経治療学会評議員

身体合併症に悩む患者が少なくない。骨折や悪性腫瘍、慢性腎不全、糖尿病、肺炎など多岐にわたる。そうした合併症を持った認知症患者は、診療や入院を断られる場合が多いが、藍野病院では969床を活用して積極的に受け入れ、良質な医療の提供を心がけている。そこには、病める人々を医やす

DATA
藍野病院
〒567-0011 大阪府茨木市高田町11番18号
TEL●072-627-7611 FAX●072-627-3627
http://www.koshokai.or.jp/aino/
診療時間●9:00～12:00/13:00～17:00
※診療科により異なります
診療科目●内科、神経内科、精神科、外科、整形外科、泌尿器科（人工透析）、脳神経外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、麻酔科（生体水）、小児科、放射線科、歯科、リハビリテーション科、病理診断科
休診日●日・祝 病床数●969床

大津・中2男子の自殺といじめの深層

サンデー毎日

7.29号
定価370円

自民復権の秘策は 「小池百合子」首相



グラビア運動 総力特集
ロンドン五輪開幕カウントダウン
「金15個超えて東京五輪招致だ」
金メダリスト列伝 栄光と挫折

「老いらくの性」
なぜ78歳過ぎは女子高生の胸を触ったのか
「がんばらない」
60歳からの実践

次総理
著名人12人私の意中
松尾貴史 西村貢本 郷原信郎 弘兼憲史
麻木久仁子 佐々木かをり 岸博幸ほか

毎日新聞社刊
サンデー毎日 7月17日発売号に掲載